

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	一般社団法人宮城県手をつなぐ育成会 にじのわ松森			
○保護者評価実施期間	2024年 12月 9日		～	2025年 1月 11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数)	12名
○従業者評価実施期間	2024年 12月 9日		～	2025年 1月 11日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 1日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもと保護者のニーズや課題をとらえた上で、スタッフ全員が一つのチームとして日々の支援に当たっている。	子どもの行動観察、保護者や他事業所との情報交換を行っている。また、スタッフ全員で支援を行う事を大切に、様々な視点で子どもの様子を見ている。送迎時に保護者と関わりながら、その時々気になる事や良い所の共有に努めている。	保護者や他事業所が相談をしやすくなる雰囲気作りを、引き続き大切にしていきたい。
2	毎月の防災訓練を行っている。	防災訓練の企画担当者が固定されないようにし、訓練内容のマンネリ化を防いでいる。火災や地震、水害時の避難訓練だけでなく、非常食体験や防災グッズ作りも行っている。	事業所内だけでなく、外部機関も巻き込んだ防災訓練の機会を設けたい。
3	事業所での活動を発信している。	にじのわ通信(隔月)、レッツチャレンジだより(不定期)、Facebook(リアルタイム)などで情報を発信している。事業所の存在を広めるため、地域での活動(町内会祭りへの参加やゴミ拾いなど)を行ったり、イベント(年賀状展やレシートキャンペーンなど)に参加している。	個人情報に留意しながら、事業所の良い所を広めていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童クラブや障害のない子どもとの交流が難しい。	近所の公園に遊びに行った時など、地域の子供達と顔を合わせる機会があり、挨拶はするが一緒に遊ぶまでは難しい。	障害の有無に関わらず、地域に色々な人が暮らしている事を知ってほしい。そのために、地域の活動や公共施設などに積極的に遊びに行きたい。
2	ペアレントトレーニング等の支援を行う事が難しい。	ペアレントトレーニングについては、専門的な経験を持つスタッフがいないため実施が難しい。しかし、保護者向けの交流会や研修会を行っている。	事業所が行う研修会だけでなく、外部で行われている研修会やイベントの情報も保護者に伝えていく。
3			

事業所名 一般社団法人宮城県手をつなぐ育成会 にじのわ松森

公表日 2025年3月1日

利用児童数 18名 回答数 12

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10	2		・着替えや個別学習、休憩をとるなどの際に利用できるように、リラックスルームとしてのスペースを確保しています。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	9	3		・利用者の人数に応じ配置するようにしております。 ・職員研修等を実施しながら専門性を高めています。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	3		・トイレ、手洗い場には固定の手すりを設置しています。 ・玄関には、車椅子の方の出入りの際に折りたたみスロープを設置し、安全に移動できるようにしています。また、
適切 な支 援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	12			・今後も、ニーズや課題の把握を十分に行い、より良い支援計画の作成に努めます。
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	9	3		・感染状況が落ち着いてきた今年度は、外食や外出の機会を増やしました。今後も内容等を工夫し、楽しい活動を考えてまいります。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	9		今年度は町内会のお祭りや近所の公園などに遊びに行き、地域で過ごす機会を増やしました。また、図書館や市民センターを利用し、公共施設の使い方を体験しています。
保護 者へ の説 明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12			・今後も丁寧に行ってまいります。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解ができていくか	11	1		・連絡帳や送迎時のやりとり、必要な場合は電話やメールを活用して、共有化に努めています。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11	1		・設定された面談時以外でも、保護者さんのお悩みを一緒に考えていけるよう心掛けております。お気軽にご相談ください。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8	4		・今年度は6月に保護者会(茶話会)を開催いたしました。来年度も開催を予定しております。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	5		・苦情とされる事案はありませんでした。 ・窓口や解決責任者等は、「重要事項説明書」にて記載しております。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10	2		・ご家庭に応じて、ご都合のよい手段で伝え合えるよう努めています。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	12			・所内掲示、にじのわ通信(2ヶ月に1回)、レッチャレだより(不定期)、フェイスブック(リアルタイムで)等でお知らせしております。
	14	個人情報に十分注意しているか	11	1		・今後も十分に注意してまいります。
非常 時等 の対	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	10	2		・マニュアルを整備しています。また、送迎時の車両(エスクワイア)に「車内置き去り防止安全装置」を取付しました。「大規模災害時・緊急時の対応について」は、書類を
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12			・毎月実施しております。地震、火災、水害、不審者等の設定で、安全を守る訓練やお話など、みんなが理解できるように配慮しながら実施しております。
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	10	2		・今後もお子さんが楽しく過ごせるよう、スタッフ一同準備してお待ちしております。
	18	事業所の支援に満足しているか	11	1		・お子さん、保護者さんの思いを受け止めながら、その時々課題を共有して、よりよい支援を提供できるよう努めてまいります。

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		一般社団法人宮城県手をつなぐ育成会 にじのわ松森			2025年 3月 1日	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			・リラックスルームとして区切られた空間を、活動に応じて多目的に利用している。 ・活動内容に応じてスペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	2	1	3	・基準人員は満たしているが、職員数不足を感じている。ぜひ確保できるよう努めてほしい→新年度から増員の予定です
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	1		・トイレに手すりがあり、スロープも用意している。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	2	4		・職員会議で協議事項として取り上げたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	1		・結果を配布し、事業所に掲示している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		1	5	・今後行う予定はあるか？→第三者による外部評価は、法人の意向もあり行っていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			
適切 な支 援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1		・行動観察や保護者からの聞き取りを基に計画を作成、スタッフ全員で内容を確認している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	3		無回答1 ・5つの視点を標準化されたアセスメントツールとして活用するといいいのではないか。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	2		・立案したものを他のスタッフに確認してもらっている。 ・夏祭り、クリスマス会を除き、活動担当が立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	1		・季節に応じたプログラムも取り入れた活動もある。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	1		・細やかな設定について検討を要する。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	1		・正しく記録を取る事に関して共有する必要がある。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	1		・前期、後期に職員全体で内容を見直している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	4	2		・5領域を取り入れた内容を行っている。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		3	1	無回答 2 ・ 医ケア児がない ・ 当面は受け入れる方向にない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	5		・ 必要に応じて行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	5		・ 必要に応じて行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	2		・ 専門機関の研修機会があれば受けたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	5		・ 機会があれば行いたいと考えている。近所の公園に行った際に、地域の子供達と遊具を共有して遊ぶ事がある。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	3	2		無回答 1 ・ 地区のネットワーク会議などに出席している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			・ あらゆる機会に共有できるよう努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		5	1	・ 事業所独自でのペアレントトレーニング等は特に設けていないが、外部の研修などの案内を保護者にしている。
保護者への説明等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	2		・ 契約時や面談時に必要に応じて行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	1		・ 必要に応じて行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6			・ 保護者会だけでなく、夏祭りやクリスマス会など保護者も参加できるイベントなどを実施している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			・ にじのわ通信やレッチャレだよりの発行、Facebookを更新している。
	35	個人情報に十分注意しているか	6			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	1		・ 「こくりの杜」や町内会へ継続して働き掛けたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	1		・ 防犯マニュアルの策定が課題。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			・ 毎月行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			・ 職員会議時に研修機会を確保している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6			・ 必要に応じて行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	3		・ 保護者からの情報や要望を受けて対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			